

議会ガイド



新年度スタート！町内の小・中学校6校で入学式が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施されましたが、新入生(中里小22名、武田小13名、薄市小4名、小泊小10名、中里中56名、小泊中14名)は希望を胸に、これからの新生活に目を輝かせていました。

第1回定例会 (令和3年3月)

目次	■ 第1回定例会	2
	■ 予算特別委員会	5
	■ 一般質問	6
	■ 第1回臨時会	11
	■ 活動報告	12
	■ 議会の動き	14

新型コロナウイルス感染症

ワクチン接種体制の確保へ

第1回 定例会

3月4日
～3月12日

令和3年第1回定例会が、3月4日から3月12日までの日程で開かれました。
9日には一般質問が行われ、塚本悦子議員、成田直人議員、今博子議員の3名が、町側の答弁を求めました。
10日と11日には、予算特別委員会(委員長・青山雅晴、副委員長・塚本悦子)が行われ、令和3年度町一般会計及び各特別会計の予算の審議が行われました。
最終日の12日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など議案32件、報告4件、発議3件、いずれも全会一致で承認、可決、同意しました。

補正予算

■一般会計

補正予算第19号

100億2280万

3千円

補正前総額

2億3513万5千円

補正後総額

102億5793万

8千円

主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費

・財政調整基金

3億7536万8千円

・備品購入費(空気清浄機)

227万1千円

□民生費

介護給付費

697万3千円

・国庫支出金過年度分返還金(子ども・子育て支援事業費)

171万1千円

□衛生費

・国民健康保険特別会計

繰入金

(事業勘定)

財政安定化支援事業

1578万3千円

(診療施設勘定)

1805万5千円

□農林水産業費

・農業委員会委員報酬

209万9千円

・県営十三湖地区経営体育成基盤整備事業負担金

1億1770万2千円

□土木費

・折戸下前線法面補修工事(第3期)

4900万円

■国民健康保険特別会計

補正予算第5号

「事業勘定」

補正前総額

17億2697万6千円

補正額

1213万8千円

補正後総額

17億3911万4千円

主な補正額(歳出)は、次のとおり。

・一般被保険者高額療養費負担金

1135万4千円

・直営診療施設勘定繰入金

1430万円

「診療施設勘定」

補正前総額

1億4634万3千円

補正額

139万円

補正後総額

1億4773万3千円

■介護保険事業特別会計

補正予算第4号

補正前総額

18億2809万3千円

補正額

3077万3千円

補正後総額

18億5886万6千円

主な補正額(歳出)は次のとおり。

・居宅介護サービス給付費

1298万1千円

・施設介護サービス給付費

2383万9千円

・地域密着型介護サービス給付費

1721万4千円

・高額介護サービス等費(償還払い)

348万1千円

■漁業集落排水事業特別会計補正予算第1号

補正前総額

2762万6千円

補正額

△73万4千円

補正後総額

2689万2千円

■後期高齢者医療特別会計補正予算第2号

補正前総額

2億9417万3千円

補正額

△1017万円

補正後総額

2億8400万3千円

■一般会計

補正予算第20号

■補正前総額

102億5793万

8千円

補正額 100万円

■補正後総額

102億5893万

8千円

主な補正額(歳出)は次のとおり。

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確立のためのシステム改修 100万円

条例関係

■中泊町報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、非常勤特別職の職名、報酬額等を明確にするため

■中泊町介護保険条例の一部改正について

第8期中泊町介護保険

事業計画の策定に伴う介護保険料の改定及び地方税法等の改正に伴う条文の整備をするため

■中泊町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

指定居宅サービス等の事業の人員、設備、運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に伴い、中泊町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正するため

■中泊町野菜集出荷予冷施設条例の一部改正について

中泊町野菜集出荷予冷施設の指定管理廃止に伴い、条文の整備を要するため

■中泊町野菜育苗施設条例の一部改正について

中泊町野菜育苗施設の中泊町野菜集出荷予冷施設の指定管理廃止に伴い、条文の整備を要するため

■中泊町ふれあい運動場条例の一部改正について

「成年後見制度の利用の促進に関する法律」により成年被後見人等の権利に係る制限が設けられている制度について、必要な見直しを行わなければならないこと及び、消防団員の退職について規定することにより、手続きを明確にするため

■中泊町ふれあい運動場条例の一部改正について

中泊町ふれあい運動場の建設に伴い、小泊ふれあい運動場を廃止するため

■中泊町診療所条例の廃止について

武田診療所が令和2年3月31日をもって閉所になったことから、用途を廃止するため

■中泊町診療所条例の廃止について

現委員の荒関徳勝氏の任期が令和3年6月30日を持って任期満了となることから後任委員として同氏を推薦するもの

指定管理廃止に伴い、条文の整備を要するもの

■中泊町道路占用料徴収条例の一部改正について

道路法等の一部を改正する法律の施行に伴い条例を改正するため

■中泊町道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について

同右

■中泊町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

「成年後見制度の利用の促進に関する法律」により成年被後見人等の権利に係る制限が設けられている制度について、必要な見直しを行わなければならないこと及び、消防団員の退職について規定することにより、手続きを明確にするため

■中泊町ふれあい運動場条例の一部改正について

中泊町ふれあい運動場の建設に伴い、小泊ふれあい運動場を廃止するため

■中泊町診療所条例の廃止について

武田診療所が令和2年3月31日をもって閉所になったことから、用途を廃止するため

■中泊町診療所条例の廃止について

現委員の荒関徳勝氏の任期が令和3年6月30日を持って任期満了となることから後任委員として同氏を推薦するもの

現委員の荒関徳勝氏の任期が令和3年6月30日を持って任期満了となることから後任委員として同氏を推薦するもの

■中泊町後継者等育成基金条例の廃止について

平成20年以降利用されていないが、今後も活用されていないことから、基金を廃止するため

■中泊町診療所条例の廃止について

武田診療所が令和2年3月31日をもって閉所になったことから、用途を廃止するため

■中泊町診療所条例の廃止について

現委員の荒関徳勝氏の任期が令和3年6月30日を持って任期満了となることから後任委員として同氏を推薦するもの

■中泊町診療所条例の廃止について

現委員の荒関徳勝氏の任期が令和3年6月30日を持って任期満了となることから後任委員として同氏を推薦するもの

■中泊町診療所条例の廃止について

現委員の荒関徳勝氏の任期が令和3年6月30日を持って任期満了となることから後任委員として同氏を推薦するもの

人事案件

■教育委員会教育委員の任命

現教育委員の佐井川智道氏の任期が令和3年5月17日で満期終了となることから同氏を再任命するもの

■人権擁護委員候補者の推薦

現委員の荒関徳勝氏の任期が令和3年6月30日を持って任期満了となることから後任委員として同氏を推薦するもの

専決処分

■一般会計

補正予算第16号

補正前総額 99億3318万円

補正額 3000万円

補正後総額 99億6318万円

主な歳出(補正額)は次のとおり

- ・除排雪経費 3000万円

■一般会計

補正予算第17号

補正前総額 99億6318万円

補正額 5000万円

補正後総額 100億1318万円

主な歳出(補正額)は次のとおり

- ・除排雪経費 3000万円

■一般会計

補正予算第18号

補正前総額 100億1318万円

補正額 962万3千円

補正後総額 100億2280万円

主な歳出(補正額)は次のとおり

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 962万3千円

・除排雪経費 5000万円

■一般会計

補正予算第18号

補正前総額 100億1318万円

補正額 962万3千円

補正後総額 100億2280万円

主な歳出(補正額)は次のとおり

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 962万3千円

■一般会計

補正予算第18号

補正前総額 100億1318万円

補正額 962万3千円

補正後総額 100億2280万円

主な歳出(補正額)は次のとおり

- ・除排雪経費 5000万円

■一般会計

補正予算第18号

補正前総額 100億1318万円

補正額 962万3千円

補正後総額 100億2280万円

主な歳出(補正額)は次のとおり

- ・除排雪経費 5000万円

■一般会計

補正予算第18号

補正前総額 100億1318万円

補正額 962万3千円

補正後総額 100億2280万円



その他

■青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について
 十和田地区環境整備事務組合の脱退による規約の変更

指定管理

■中泊町老人福祉センター
 1 管理者：社会福祉法人中泊町社会福祉協議会
 ・期間：3年

■中泊町小説「津軽」の像記念館
 ・管理者：小泊観光協会
 ・期間：3年

■中泊町農産物加工販売施設・中泊町農村活性化施設
 ・管理者：(株)アクトプラン
 ・期間：3年

町営住宅使用料の債権放棄について

住宅使用料を滞納している者について、破産法第252条の規定による免責許可が決定したため

中泊町過疎地域自立促進計画の変更について

「ため池インフラ長寿命化事業」及び「森林基幹道整備事業」他4事業を追加するため

青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに青森県市町村総合事務組合規約の変更について

十和田地区環境整備組合が解散することによる変更

工事請負変更契約について

中泊町総合福祉健康センター温泉掘削工事に係る工期の変更

発議

中泊町議会会議規則の一部改正について

「標準」町村議会会議規則の一部改正により、中泊町議会会議規則の一部を改めるもの

中泊町議会災害対策本部設置要綱の制定について

中泊町災害対策本部と連携を図り、中泊町議会議員が町民の安全確保と災害復旧に向け、迅速かつ適切な災害活動ができるようにするため

議員派遣について

町議会会議規則の規定により議員を派遣するもの

新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別を防止するための規定が設けられました！

(新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正する法律 令和3年2月13日施行)

新型コロナウイルス感染症に関する様々な差別的な取扱いが報告されています。こうした偏見や差別は決して許されません。

事例

(感染したことを理由に解雇される)



(回復しているのに出社を拒否される)



(病院で感染者が出たことを理由に、子供の保育園等の利用を拒否される)



(感染者が発生した学校の学生やその家族に対して来店を拒否する)



(感染者個人の名前や行動を特定し、SNS等で公表・非難する)



(無症状・無自覚で訪れた店舗から謝罪や賠償を強要される)



特措法改正では、感染者やその家族、医療従事者等の人権が尊重され、差別的な取扱いを受けることのないよう、偏見や差別を防止するための規定が設けられました。

国や地方公共団体は、新型コロナに関する差別的取扱い等の実態把握や啓発活動を行います。

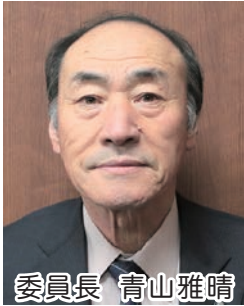
新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律 (令和3年法律第5号) (抄)
 (令和3年2月13日施行)
 (知識の普及等)
 第13条

2 国及び地方公共団体は、新型インフルエンザ等対策を実施するに当たっては、新型インフルエンザ等に起因する差別的取扱い等(次に掲げる行為をいい、以下この項において「差別的取扱い等」という。)及び他人に対して差別的取扱い等を行うことを要求し、依頼し、又は唆す行為が行われるおそれが高いことを考慮して、新型インフルエンザ等の患者及び医療従事者並びにこれらの者の家族その他のこれらの者と同一の集団に属する者(以下この項において「新型インフルエンザ等患者等」という。)の人権が尊重され、及び何人も差別的取扱い等を受けることのないようにするため、新型インフルエンザ等患者等に対する差別的取扱い等の実態の把握、新型インフルエンザ等患者等に対する相談支援並びに新型インフルエンザ等に関する情報の収集、整理、分析及び提供並びに広報その他の啓発活動を行うものとする。

一 新型インフルエンザ等患者等であること又は新型インフルエンザ等患者等であったことを理由とする不当な差別的取扱い

二 新型インフルエンザ等患者等の名誉又は信用を毀損する行為

三 前二号に掲げるもののほか、新型インフルエンザ等患者等の権利利益を侵害する行為



委員長 青山雅晴

3月10日から11日の2日間、全議員をもって構成する予算特別委員会(委員長・青山雅晴、副委員長・塚本悦子)が開かれ、慎重に審査されました。
12日には、採決が行われ、いずれも全会一致で認定されました。

予算特別委員会

3月10日・11日

令和3年度 一般会計当初予算
前年度対比 14億5千万円 18.5%増
92億8300万円でスタート

中泊町全会計予算額一覧

(単位…千円・%)

会 計	本年度予算額	前年度予算額	増 減 比 較		
			増減額	増減率	
一般会計	9,283,000	7,833,000	1,450,000	18.5%	
国民健康保険 (事業勘定)	1,557,444	1,603,577	△46,133	△2.9%	
国民健康保険 (施設勘定)	141,540	141,952	△412	△0.3%	
介護保険事業	1,822,484	1,747,704	74,780	4.2%	
農業集落排水事業	41,761	41,287	474	1.1%	
漁業集落排水事業	23,334	27,626	△4,292	△15.5%	
後期高齢者医療	287,255	293,229	△5,974	△2.0%	
水道事業	収益的収入	355,280	357,855	△2,575	△0.7%
	収益的支出	299,169	315,217	△16,048	△5.1%
	資本的支出	218,739	203,680	15,059	7.4%

主な当初予算 (一般会計分)

- ◇総務費
 - ふるさと納税事業 1827万
 - 戸籍住民基本台帳事務・ネットワーク事業 1186万9千円
 - 総合福祉健康センター建設事業 1億3271万9千円
- ◇民生費
 - 障害者自立支援給付事業 3億4011万6千円
 - 放課後児童健全育成事業 2197万9千円
 - 子どものための教育・保育給付事業 3億8681万1千円
- ◇衛生費
 - こども医療費給付事業 2464万1千円
 - 新型コロナウイルスワクチン接種・体制確保事業 5950万5千円
- ◇農林水産業費
 - ごみ収集業務委託事業 4535万9千円
 - 子育て世代包括支援センター1設立準備・運営事業 150万7千円
 - 農産物加工販売施設管理事業 1356万3千円
 - 環境保全型農業直接支払事業 1864万1千円
 - 多面的機能支払事業 1億3543万3千円
 - 県営十三湖地区経営体育成基盤整備事業 1億513万7千円
 - 森林経営管理事業 542万3千円
 - ふれあいセンター管理運営費 1252万9千円
 - 森林環境譲与税基金積立事業 730万8千円
 - 中泊メバ活プロジェクト事業 814万8千円
 - 養殖推進プロジェクト事業 384万3千円
 - 水産物加工事業 170万円
- ◇土木費
 - 道路補修事業 1549万8千円
 - 道路新設改良事業 3079万7千円
 - 岩木川堤防除草事業 1591万6千円
- ◇教育費
 - 学校ICT整備事業 1134万7千円
 - こどもり小中学校建設事業 17億6406万9千円
 - 宮越家整備事業 801万9千円
- ◇公債費
 - 町債償還元金 11億7628万6千円
 - 町債償還利子 4189万3千円
- ◇商工費
 - なかどまり魅力発信創作物業 581万3千円
 - 宮越家公開管理事業 693万1千円
 - 地域おこし協力隊事業 381万円
- ◇消防費
 - 災害対策事業 1278万9千円

一般質問

※一般質問とは議員個人が町政全般に対し、行政側に現状や見通しを聞くことです。記載されている内容は簡略化したものです。再質問、再々質問は記載しておりません。

●コロナ下における町の施策方針は

～行財政運営の進め方は～

～2020年度の現在の税収の現状と2021年度の税収見込みは～



塚本悦子 議員

Q

2020年度の税収の減収が見込まれる中、自然災害、医療、福祉、農林水産の経済被害などに対し、町は暮らしと地域経済を守るため、今後事業の見直しを含め、どのように行財政を進めていくのかお伺いする。

■濱館豊光町長



A

国からの交付税も減少傾向にある中で、新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減少は、全国の自治体における共通の課

題であると認識をしている。総務省は、地方自治体の税収不足を穴埋めする地方債として、減収補填債を令和2年度限りの対象拡大を公表している。大幅な税収減が見込まれる自治体の支援を打ち出している。

このような中、当町における行政運営は、最上位計画である長期総合計画に掲げた将来像「豊かな自然とともに創る、暮らし、未来につながる自立と協働のまち 中泊」という考え方の下、どのような状況下にあっても、まずは町民の生命と財産を守るということを第一に進めることに変わりはない。

事業の見直し等による対応については、常にその時々、環境の変化に対応するために継続的に取り組み、新型コロナウイルス感染症対策支援事業等でもできるだけ迅速に対応している。

現在進行中の大規模事業についても、状況を見ながら、現状計画どおりに進めたいと考えている。また、投資的建設事業

等の大規模事業については、住民サービスの低下を招くことがないよう、優先順位を常に考え計画を見極め、取り組みたいと考えている。

今後も国、県等の支援政策を注視しながら、使える財源は積極的に使うという姿勢を持ちながら財源の確保に努め、企業版ふるさと納税等も積極的に活用しながら、新たな財源確保についても進めてまいりたいと考えている。

この「大地の恵と海の幸」豊かな中泊町を守り育て、未来を担う人材づくりも進め、当町がこれからも持続、継続、発展していけるよう、自信を持って未来につながる町政運営に努めてまいりたい。

Q

目まぐるしく変化する新型コロナウイルスの影響で、全国的に自治体の税収は2020年度と比較して大幅に落ち込むと予想されているが、20年度の現在の町の税収の現状と、そして次年度へ展望はどのように考えているか、概略をお

伺います。

■太田光平 税務課長

A

令和2年度、町の税収の現状、令和3年1月末現在の税収についてお答えする。町税の調定額は、現年で9億3,214万8,000円、収納額は8億4,416万6,000円となり、収納率は90.56%、対前年同期で2.43%増となっている。

次に、次年度への展望についてお答えする。令和3年度の前年度比、町税全体では対前年度比8,570万円減、率にしてマイナス9.6%の8億2,811万5,000円を見込んでいます。主な要因は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から行われた国の緊急事態宣言等の影響で、給与収入及び営業収入が大幅に減少すると見込まれている。

当町において、どの程度の経済的影響があるのかについては、当町は第一次産業が主な業種であり、他の都市部の市町の

産業形態とは大分違うと考えられる。

このことから、当町の農業については大きな減収はないものと予測している。

また、漁業、個人事業主については、現在廃業等について問合せがないことから、大幅な減収はないと思うが、ある程度の減収はあるものと見込んでいます。給与所得者については、解雇等の徴収猶予等の申請はないが、給与の減収があるものと考えられるので減収を見込んだところである。昨年から発生している新型コロナウイルス感染症は、今まで経験をしたことのない経済的影響のため、あくまでも予測の範囲であることをご了承願います。

●当町における人口減少問題について ～町の現状、そして課題は～

●コロナ渦での観光戦略について ～アフターコロナへの意識は～



成田直人 議員

Q

中泊町が持続的な発展と活力のあるまちづくりを目標としていくために、人口減少の課題は避けて通れないと思うが、町長は現状をどのように認識し、人口減少という課題について、基本的にとどのような考えをお持ちかお伺いする。

A

人口減少という現象は、当町のみならず全国的な傾向問題、課題であると認識している。急激に進んでいる過疎化と相まって、少子化が起こり、結果として人口減少になっている。直接的、間接的に住民の生活、地域経済、地方財政に影響を及ぼすと

いうことが懸念されている。

そうした中で、我が町は、一次産業を基本としたある意味強みを持つている地域である。その強みを生かすことで、キャッチフレーズとしてまちづくりの基本に「大地の恵と海の幸」、このことを使い、農業と漁業をしつかり暮らしていけるものにしていく、平成17年の合併以来、その方向性を持ちながら町政を進めている。

平成28年3月には、町の最上位計画である中泊町長期総合計画と連動する形で中泊町人口ビジョンと中泊町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、今後の目指すべき将来の方向と取組について計画をし、推し進めてきた。

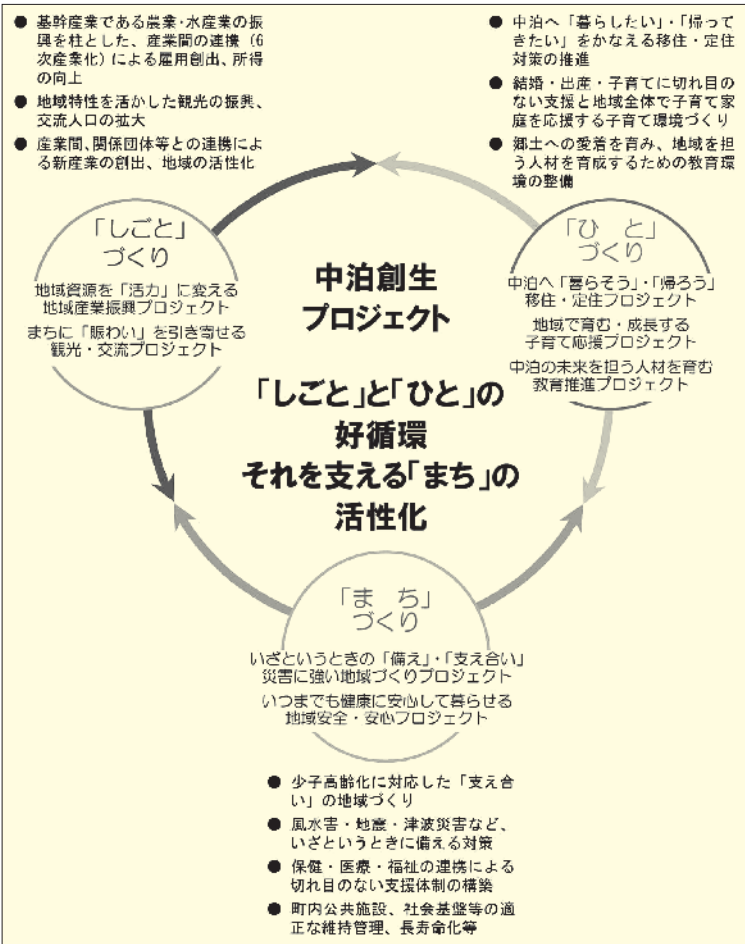
しごとづくり、ひとづくり、まちづくり、この3つの好循環の確立に取り組むことを最重要課題として位置づけ、係る7項目を重点プロジェクトとしている。1つは、地域資源を「活力」に変える地域産業振興プロジェクト、2つは、

「賑わい」を引き寄せる観光・交流プロジェクト、3つは、中泊へ「暮らそう」・「帰ろう」移住・定住プロジェクト、4つは地域で育む・成長する子育て応援プロジェクト、5つは中泊の未来を担う人材を育む教育推進プロジェクト、6つは、いざというときの「備え」・「支え合い」、災害に強い地域作りプロジェクト、7つは、いつまでも健康

に安心して暮らせる地域安全・安心プロジェクトとして取り組んでいる。人口が減るということを止めるというのは難しいと認識している。人口を増やすことは簡単ではないとの認識であり、諦めではなく、現状をきちんと把握し、取るべき対策をしっかりと講じながら進めていくことが重要だと考えている。一次産業中心の当町においては、

人口が減っていったときに、ただそれを嘆くのではなく、その人口規模に応じた暮らし方、暮らしの環境を整える。いち

重点プロジェクト



早く減った人口に対応できる地域をつくるのが大事だと思っている。それがこの町が進める希望の町につながるのではないかと認識している。

Q

昨年1月半ばに初確認された新型コロナウイルスは、瞬時に世界中で流行したことから、感染拡大予防策が講じられた。各種イベント等は開催の中止、延期、そして開催規模の縮小などを余儀なくされ、状況が一変したものと推察している。

そこで、新型コロナウイルスクチン接種が開始される方向にあることから、終息への曙光が見えつつあるものの、観光環境が完全な形に戻るには、相当な時間を要するとの情勢を踏まえ、コロナ禍での観光戦略は新たな視点で望む必要があると思われるが、どのように考えているのか伺います。

■ 演館豊光町長

A

昨年はコロナの影響により、



なかどまりまつりを中止せざるを得なかったわけである。その一方で感染拡大防止に最大限の配慮をし、ビーチサッカーフエスタ、宮越家離れ・庭園の試験公開も行い、その他青森市でのイベントも行った。感染防止、感染予防に取り組みながら、やれるものはやっていく、どうすればやれるのかを考えていくことが大事だと考えている。

来年度以降の観光戦略、イベントの実施や事業の展開については、現在町で昨年3月に策定した観光ビジョンに掲げているニューツーリズム、着地型旅行商品がある。この商品を我が町の強みである宮越家を中心とした大正浪漫という切り口で、観光振興を着実に展開していくための準備を怠りなく進めたいと考えている。その準備の一端が今年度国の地方創生臨時交付金などを活用した新たな生活様式に沿った店舗等の改修事業である。

ウイズコロナ、コロナ禍の観光戦略として、オンラインや通信販売等での事業展開も有効な手法の一つであると考えている。町としてはアフターコロナの備えとして、初年度のDMOである克蘭ピオニー津軽との連携などを見据え、町内の観光関連事業者が一体となり、交流事業の拡大が図れる体制づくり、しっかりとした土台づくりが急務であると考えている。

そこで、昨年来から観光ビジョン推進委員会で新たな組織の立ち上げについて検討し、中泊町文化観光交流協会の設立に向け、今年の1月26日に設立発起人会を発足した。文化の継承、観光の振興、国際交流の推進を目的とした一般社団法人を、本年4月1日を目途に設立する予定としている。

4月からは、地域おこし協力隊、隊員採用の予定もしている。しっかりとした人材の確保も行き、新協会が独自の旅行良品を取り扱い、多くの方々に来て、見て、買って、食べて、喜んでいただけるよう取り組みたいと考えている。

国際交流も積極的に推進し、外国人が訪れてもあずましい町、住民が誇れる町、選ばれる中泊町を目指して、観光振興、コロナ禍であるが、臆することなく推進してまいりたい。

議会中継は初日から最終日までインターネット配信しています

インターネット配信の視聴は

<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

でご覧になれます。



←こちらからもアクセスできます

役場本庁舎・総合文化センター「パルナス」
小泊支所・すくすくしたまえ館
でもご覧になれます。ぜひご利用下さい。



また、議会会議録をネット上で公開しています。

町ホームページ(トップページ → 議会 → 会議録)からご覧下さい。

●宮越家離れ・庭園を活かしたまちづくりについて

～宮越家離れ・庭園を活かしたまちづくりの戦略は～

～維持管理の具体的な対策は～

～ボランティアガイドの会 これからの連携と歩みは～



今 博子 議員

Q

町では、文化の町、中泊町としてイメージを上げていくため、ブランド戦略を展開していくとしているが、宮越家離れ・庭園に関して、これからのようになまちづくりの戦略を考えているのかお伺いする。

■濱館豊光町長

A

宮越家の離れ、庭園をうまく生かしたまちづくり、大正浪漫かほる中泊町というキャッチコピーで進めている。

宮越家離れ・庭園の一般公開では、3,110名の方にお越しをいただいた。また、お越しいただいた方々からは、たくさんのお褒めの言葉、称

賛のお声を頂戴している。

今後の宮越家離れ・庭園を生かしたまちづくりの戦略は、公開中に実施をさせていただいたアンケート調査の結果から、来場者は、町内150名程度、町外であつて県内は、2,750名であつた。県外からは210名ほど県外からもおいでいただいた。中には、遠くは九州の熊本県、それから四国の徳島県、静岡県など、全国各地からお越しをいただいた。

しかし、コロナ禍ということで、ある程度ブレーキがかかった部分は否めないと思つている。逆に言うと、県外からのお客様は、このコロナの状況が、ワクチン接種が増えて静まってくれば、まだまだ期待できるのではと、今後の情報発信の仕方の工夫、それから受入れ方の体制の工夫、これによつてはまだまだ伸ばしていけるのではないかと期待している。

また、町が設置をした宮越家住宅・資料保存活用検討委員会の専門家の皆様の調査によると、宮

越家の第9代当主、正治氏によつて造営された離れ・庭園は、正治氏の漢詩集に冠せられた、名前がつけられた静川村荘という名称、また文庫蔵に残されていた書簡から日本画家、橋本閑雪との密接な交流、橋本閑雪からは80通近い書簡が発見されている。この橋本閑雪が手がけた京都、銀閣寺のすぐ近くにある白沙村荘がモデルになつたのではないかと推測されたところである。

昨年11月の一般公開終了後には、旧友のねぶた師・竹浪比呂央氏、齋藤博物館長らとともに京都の白沙村荘を訪ね、ルーツを探ってきた。

写真を持参し、その写真を確認した橋本閑雪先生のひ孫に当たる副館長は、同じだねとお言葉もいただいた。

うまく運ばば白沙村荘と静川村荘、宮越家のお庭が姉妹庭園という関係結びながら、あちらに行つたお客様がこちらにもまた来ていただけるような形もつくれるのではないかと期待をしている。

今後の戦略としては、県の指定文化財を目指す、離れ・庭園の整備を着実に進めながら、情報発信ツールを積極的に活用し、宮越家を日本全国、または世界に向けて発信したいと考えている。

そのための体制づくりとして、4月には一般社団法人中泊町文化観光交流協会を設立し、国の地域おこし協力隊導入制度を活用しながら、旅行商品を町独自で開発し、販売できるような資格取得者や、アフターコロナで本県の観光需要復活が期待されるインバウンド対策要員として、語学が堪能な方を配置したいと考えている。

先月25日には、当町に風力発電所を建設する企業、日本風力エネルギーが、1年間で最大5,000万円の寄附を20年間してくださるという協定を締結した。その中にこの宮越家の離れ・庭園を守つていくために使つてほしいとオファーもあつたところである。

今後宮越家とは、10年

ほどの長期賃貸借契約を交わしつつ、こういった財源を活用しながら、地域の光として磨き上げをしてまいりたいと考えている。

Q

宮越家離れ・庭園の老朽化、劣化等が見られるが、持続可能な保存、そして活用の体制を確立していくため、修理や維持管理など、どのように進めていく考えなのか具体的な対応策についてお伺いする。

■米塚鈴子教育長



A

平成30年12月に宮越家離れ・庭園は、中泊町文化財に指定され、翌令和元年度から本格的に保存、整備に着手している。

令和元年度には、地域代表や専門家によつて構成された宮越家住宅・資料保存活用検討委員会を

設置し、公開活用部会、建造物部会、ステンドグラス部会、庭園部会の4部会ごとに検討を行った。これを基にして、それぞれ短期的整備方針及び中長期的整備方針を基本計画とした宮越家住宅・資料保存活用計画を昨年3月に策定し、計画的に保存整備を進めてきている。

令和2年度は、一般公開に向けた整備として、庭園の復元整備、風雨雪や経年劣化から達磨堂を



保護するための覆屋を仮設するなどの整備を行ってきた。

令和3年度から令和7年度までの5年程度は中期的整備として、県指定や国指定に向けた環境整備という形で進めていく予定である。

ただ、離れ・庭園の老朽化、劣化等が見られることから、令和3年度の整備は、庭園整備として、昨年の一般公開で課題として挙げられた水はけの悪い見学園路の整備、築山の裏の池の浚渫、循環ポンプの埋設、破損した石造物、灯籠の修復などを行う予定である。

次に、離れの整備として、一般公開時の反省を生かした離れ出入口の安全確保のための手すりの仮設、ガラス戸及び雨戸



や障子戸の修復を行う予定となっている。

令和4年度以降も破損状況等を踏まえ、専門家による指導の下、整備、修復をしてまいりたいと考えている。

Q 大変貴重なものであるため、盗難や焼失、災害等の対応策についてお伺いする。

■米塚鈴子教育長

A 令和元年度に無人時や夜間の警戒のため、防犯カメラ、人感ライトをそれぞれ3か所に、そして赤外線センサー7台を離れに設置している。また、侵入防止用の仮設フェンスを設置するなど、防犯対策を講じている。

次に、地震、暴風等の自然災害や火災時の対応については、消防法第8条第1項に基づいた防火管理計画書、消防計画書を令和3年度中に策定する予定である。計画書の策定に当たっては、消防署と協議しながら、よりよい防災、防火対策の在

り方について、今後検討してまいりたい。

また、各種調査により、母屋、文庫蔵、米蔵など、離れ・庭園と切り離すことができない宮越家住宅自体が非常に重要な文化的価値を有することが判明している。さらに、宮越家資料の予備調査により、全国の文化人との交流や所蔵品目録の存在、日本画家、橋本関雪作庭の白沙村荘との関連性などが明らかに becoming なる。

これらの重要な文化遺産を確実に次代に継承していくために、公開活用を今後も図りながら、本文化財そのものがつくられた経緯や存在する意義についても触れながら、長期的かつ持続可能な方法で文化財指定や保存整備を、今後進めてまいりたいと考えている。

Q ボランティアガイドの方々には宮越家離れ・庭園に魅力を感じ、心から応援したい、携わっていくことで、見た方の口コミなどにより、中泊町が広く普及啓

発へとつながることを願っている。このボランティアガイドの会をこれからのような立ち位置とし、どのような方向へと持っていくかとしているのかお伺いする。

■越野進一水産商工観光課長

A ボランティアガイドの会の皆様には、ガイド養成講座の受講をはじめ、ガイドシミュレーションへの参加など、忙しい中の合間を縫って、昨年11月の一般公開に向けて準備に取り組んでいただいた。

また、町民内覧会、一般公開の30日間の本番では、寒い日や風の強い日など、悪天候の中でも町の指定文化財である宮越家離れ・庭園をどうにか町内外に広く知らしめたい、おもてなしの心、熱い思いを持って活動していただき、ガイドの会の皆さんには大変感謝している。

公開中に実施したアンケート調査の結果から、ご来場いただいた皆様よ

り、ガイドの説明が分かりやすく、親切な対応でよかった、皆さんの笑顔、頑張りがすばらしかったと、ガイドの会の皆様を称賛する数多くの感想が寄せられていた。

今年度は、1日10便、1便15名、1日最大150名のご来場者に対し、フル回転でご尽力いただいたが、来年度は2か月間の公開を計画している。このことからガイドの会の皆様の負担を軽減すべく、1日8便、1便10名、1日最大80名とし、さらにはご来場者のご意見も反映していくため、試験的に1日8便のうち、ガイドなしの時間帯を設けながら実施したいと考えている。

当課としては、ガイドの会皆様の活躍なくして宮越家離れ・庭園の公開の成功はないと考えている。今後も引き続き公開の先頭に立っていただきたく、おもてなしの心、宮越愛を保ちながら、ご来場者を迎え入れる体制づくり、会の結束力を高める活動に励んでいただきたいと考えている。

令和3年第1回中泊町議会臨時会

新型コロナウイルス感染症対策充実

令和3年第1回中泊町議会臨時会が1月13日に開催されました。報告1件、議案1件について審議され、承認、可決されました。

補正予算

■令和2年度一般会計

補正予算第15号

補正前

97億7804万1千円

補正額

1億5513万9千円

補正後

99億3318万円

主な歳出(補正額)は次のとおり。

□総務費

○ 財政調整基金

7927万1千円

○ 集会施設抗菌量取替工

事 562万6千円

○ 庁舎暖房設備設置工事

441万3千円

専決処分

■令和2年度一般会計

補正予算第14号

補正前

○ サーモカメラシステム
購入(3台)
294万3千円

○ 空気清浄機購入(5台)
283万8千円

□ 農林水産業費

○ 農産物加工販売施設改修工事 836万円

□ 商工費

○ ウィンター応援チケット交付金 4056万円

○ 津軽中里駅にぎわい空間環境整備事業 644万4千円

主な歳出(補正額)は次のとおり

□ 土木費

○ 町道除雪 5000万円

補正後

97億7804万1千円

補正額 5000万円

97億2804万1千円



傍聴席は、あなたの席です!!

中泊町令和3年第2回定例会は6月上旬です。

会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

令和3年第1回定例会の傍聴は6名でした。

※耳が不自由な方にはイヤホンをお貸しします。遠慮なくお申し出ください。

～新型コロナウイルス感染症まん延防止にご協力ください～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴される方には次のことをお願いしています。

- ・発熱があるなどの体調不良の方、マスク着用のない方の入場はお断りします。
- ・入場時には検温をし、37.5度以上ある方の入場はお断りしています。
- ・入場時には手指消毒をお願いします。



お詫びと訂正

中泊町議会ガイド第63号3ページに記載の内容に誤りがありましたので、次のとおりお詫びして訂正いたします。

誤

■ 中泊町農業委員会委員
中泊町農業委員15人の任期が令和3年3月31日で任期満了と(略)

正

■ 中泊町農業委員会委員
中泊町農業委員15人の任期が令和3年3月27日で任期満了と(略)

誤

農業委員

・ 外崎 満幸
(中略)

・ 青山 邦榮

・ 小野恵美子

(中略)

・ 松坂 龍美

正

農業委員

・ 外崎 満幸
(中略)

・ 青山 邦榮

・ 小野美恵子

(中略)

・ 松坂 龍美

・ 松坂 龍美

活動報告

令和2年度 中泊町成人式

例年8月15日に開催されていた中泊町成人式は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年1月10日に中泊町総合文化センター「パルナス」で開催されました。新成人に対し、長利議長は「若いみなさんの自由で柔軟な発想や行動力で、社会の荒波を乗り越え、自分の夢に向かいこれからの人生を力強く歩んでください。」と祝辞を述べられました。

令和2年度
中泊町教育文化賞・スポーツ賞授与式

令和3年2月21日に中泊町総合文化センター「パルナス」で令和2年度中泊町教育文化賞・スポーツ賞が開催されました。

議会を代表し、長利議長は「これまでみなさんのご労苦に対し心から敬意を表します。」と祝辞を述べられました。

新ご当地グルメ 第3弾
中泊トマト海鮮ラーメン 完成披露会

令和3年3月22日、中泊町総合文化センター「パルナス」で中泊トマト海鮮ラーメン完成披露会が開催され、新ご当地グルメ第3弾を試食いたしました。

試食された議員のみなさんは「濃厚なトマトスープと麺が絡み合っているととてもおいしい」、「ラーメンを食べた後のご飯を入れてのリゾットがおいしい」などと舌鼓を打っていました。



委員会だより

総務文教常任委員会 (委員長 川山 光則)



議会運営委員会の様子

○令和3年1月28日(木) 第1回総務文教常任委員会

〈案 件〉

- (1) 請願第1号「中泊町運動公園陸上競技場の整備を求める請願」について
審査結果「採択」
- (2) その他

議会運営委員会 (委員長 青山 雅晴)

○令和3年2月3日(木) 第1回議会運営委員会

〈案 件〉

- (1) 令和3年第1回中泊町議会定例会会期日程及び議会運営に関する事項について
- (2) 予算特別委員会の設置について
- (3) 請願の委員会審査結果について
- (4) その他



議会運営委員会の様子

○令和3年2月24日(水) 第2回議会運営委員会

〈案 件〉

- (1) 一般質問について
- (2) 提出議案について
- (4) その他

広報委員会 (委員長 成田 直人)



広報委員会の様子

○令和3年1月22日(金) 第1回広報委員会

〈案 件〉

- (1) 議会ガイド第63号(案)について
- (2) その他

3月						2月						1月					
22日	12日	11日	10日	9日	4日	26日	24日	21日	18日	15日	12日	28日	24日	22日	13日	10日	
中泊トマト海鮮ラーメン完成披露会	単行案審議・採決・閉会	予算特別委員会(一般会計)	予算特別委員会(特別会計)	定例会一般質問	第1回定例会開会	第71回青森県町村議会議長会定期総会	総務文教常任委員協議会	第2回議会運営委員会	中泊町教育文化賞・スポーツ賞授与式	国民健康保険運営協議会	農業再生協議会臨時総会	総務文教常任委員会・常任委員協議会	五周年記念式典	令和3年第1回広報委員会	令和3年度中泊町成人式		
					中泊町総合計画審議会						産業福祉常任委員協議会		板柳町町制施行百周年・町村合併六十		令和3年第1回臨時議会		

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋外ラオクなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 景の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



厚生労働省HPから

編集後記

▼忘れない！ その日は突然やって来た。日常の町並みは大きく揺れ、穏やかな海は豹変し、家族や友人等の多くを一瞬でさらしい、原風景を奈落の底へ、雪が混じる寒い日であった。

その日は、ちょうど10年前の3・11、東日本大震災である。「悲しんでばかりいられない。生きて行くために頑張る」と、テレビから流れる現在進行形の声が琴線に触れる。

▼今後30年以内に大地震・大津波は70〜80%の確率で発生するとの予測。教訓を活かした適切な行動と、「備えあれば憂いなし」をモットーに、今一度、ハザードマップの確認と持ち出し品の点検をお願いしたい。

▼美しい緑の季節の訪れ。卒業や異動など仲間と別離の3月を終え、入学や入社など新しい環境での出会いの4月を迎えた。特に若者は、期待と不安の交錯する心情にある中、矜持と自覚を持ちつつ、夢・目標へのステップの年としてほしい。

〈委員長・成田直人〉